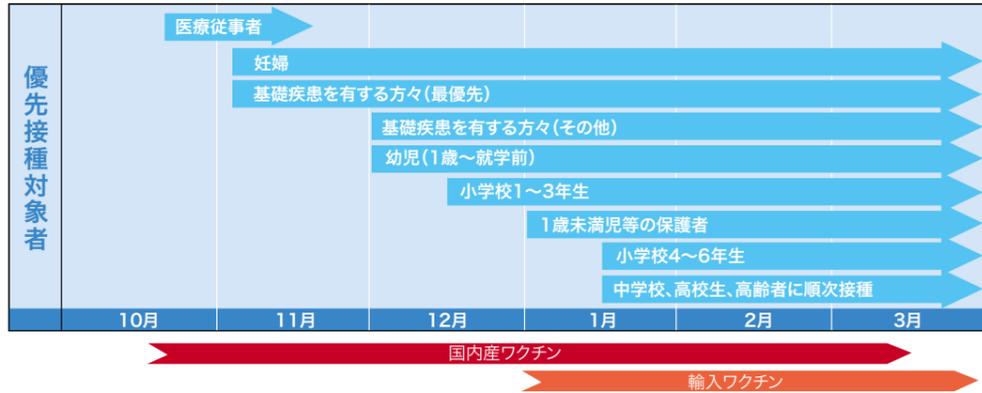


接種スケジュール



新型インフルエンザの  
ワクチン接種について

十一月十六日から優先接種対象者に対する新型インフル  
エンザワクチンの接種が始まりました。

ワクチンのリスクと安全性

国内産のワクチンは長年接種されてきた季節性インフルエンザワクチンと同程度の安全性があると考えられています。輸入されるワクチンについては、海外で承認されていることを前提として、さまざまなデータをもとに、有効性・安全性を確認してから実際の接種を始めます。接種は多くの方々に重症化予防というメリットをもたらしますが、接種後、腫れたり、熱が出るなどの症状が出るケースもあり、まれではあります。重篤な症状を引き起こす可能性もあります。この点を理解いただいた上で個人の判断により接種を受けていただくようお願いいたします。

優先接種対象者の  
範囲とスケジュール

新型インフルエンザワクチンは、順次生産されていくため、より必要性の高い方々が早く接種できるように、最優先接種者の基準を設け接種スケジュールを立てています。県では、十月十九日の医療従事者を皮切りにワクチン接種を開始してまいります。優先接種対象者の範囲と今後のスケジュールは上記のとおりです。

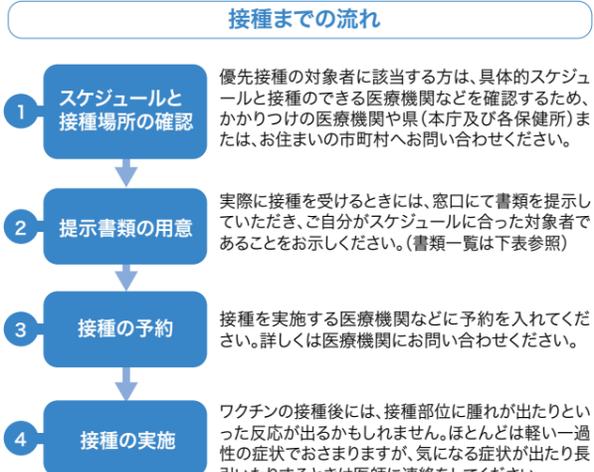
ワクチン接種の機関・費用

ワクチン接種には事前の予約が必要で、最寄りの保健所やお住まいの市町村窓口でワクチン接種を行っている医療機関をお確かめの上、ご予約ください。また、県ホームページにも接種を受けられる医療機関の情報掲載しています。また、所得の少ない世帯については費用負担の軽減を実施します。詳しくはお住まいの市町村窓口へお問い合わせください。

(接種費用)

一回目	二千六百円
二回目	二千五百五十円
合計	六千五百十円

※一回目と異なる医療機関で接種する場合は二回目も三千六百円になります。



- 提示書類リスト
- ①基礎疾患を有する者 → 「優先接種対象者証明書」
  - ②妊婦 → 「母子健康手帳」
  - ③1歳～小学校3年生 → 「母子健康手帳」または「各種健康保険被保険者証」
  - ④1歳未満児等の保護者 → 「優先接種対象者証明書」、「各種健康保険被保険者証」または「住民票」
  - ⑤小学校4年生～高校生 → 「各種健康保険被保険者証」、「学生証」または「住民票」
  - ⑥高齢者(65歳以上) → 「各種健康保険被保険者証」、「運転免許証」または「住民票」

ワクチン接種に関する相談窓口

【ホームページ】  
<http://www.pref.okinawa.jp/hukushihokenkikaku/vaccine.htm>

【相談受付】 平日 午前8時15分～午後5時15分

【連絡先】 (県庁) 098-866-2116  
(中央保健所) 098-833-8705  
(北部保健所) 0980-52-5219  
(中部保健所) 098-938-9900  
(南部保健所) 098-889-6370  
(宮古保健所) 0980-73-4125  
(八重山保健所) 0980-82-1131

お問い合わせ ● 新型インフルエンザ対策室 TEL.098-866-2116 FAX.098-866-2714

平成二十一年度  
沖縄県功労者  
表彰式

県は、十一月三日、平成二十一年度沖縄県功労者表彰式を那覇市内のホテルで開催し、受章者の親族や関係者など多数の出席の下、各部門で功績のあった十名の方々に仲井眞知事から表彰状と功労章を贈呈しました。



<p><b>地方自治部門</b></p> <p>あらかき ぎとく 新垣 義徳氏(89歳)</p> <p>永年にわたり沖縄県地方労働委員会使用者委員として労使紛争の予防や解決に尽力するなど、労使関係の安定化及び健全化に献身的に取り組み、県民生活の安定と沖縄県の経済の発展に大きく貢献した。</p>	<p><b>社会福祉部門</b></p> <p>いとかず つよし 糸数 健氏(77歳)</p> <p>永年にわたり産婦人科医療の向上に寄与するとともに、那覇市医師会の要職を歴任し、在宅医療等の地域医療活動に取り組んだほか、子宮がん、乳がんの撲滅事業に尽力するなど、沖縄県の医療福祉の発展に大きく貢献した。</p>
<p><b>文化部門</b></p> <p>はなしろ さだえ 花城 貞江氏(85歳)</p> <p>永年にわたり茶道の研さんを積み、茶道裏千家淡交会沖縄支部の創設に参画するなど、沖縄県における茶道文化の礎を築くとともに、後継者の育成に尽力するなど沖縄県の茶道の普及発展に大きく貢献した。</p>	<p><b>産業経済部門</b></p> <p>よこた えいこう 與古田 永宏氏(80歳)</p> <p>永年にわたり宅地建物取引業に携わり、住宅難の解消と復興に取り組んだほか、沖縄県宅地建物取引業協会会長として、不動産流通市場の近代化と消費者保護に努めるなど、沖縄県の産業振興に大きく貢献した。</p>
<p><b>文化部門</b></p> <p>きな しょうえい 喜納 昌永氏(88歳)</p> <p>琉球民謡の歌手として第一線で活躍する傍ら、正調琉球民謡工四を作成するなど琉球民謡の保存と普及に取り組むとともに後継者の育成に尽力するなど沖縄県の芸能文化の発展に大きく貢献した。</p>	<p><b>一般篤行部門</b></p> <p>おおしろ みつよ 大城 光代氏(77歳)</p> <p>初の女性法曹として、那覇地方裁判所長等を歴任し、また、県男女共同参画審議会会長を務めたほか、犯罪等をした人の改善更生支援に取り組むなど、沖縄県の人権意識の向上、男女共同参画社会の実現に大きく貢献した。</p>
<p><b>体育・スポーツ部門</b></p> <p>いしかわ せいとく 石川 精徳氏(84歳)</p> <p>永年にわたり首里手の技法の研究研さんに努める傍ら、唐手研究所を開設し多くの門弟や指導者を育て上げたほか、沖縄県空手道連盟会長等を務めるなど、県空手界の振興発展に大きく貢献した。</p>	<p><b>一般篤行部門</b></p> <p>なかだ きよすけ 仲田 清祐氏(86歳)</p> <p>永年にわたり東京沖縄県人会等の要職を歴任し、在京県人の生活福祉の向上、青少年育成、沖縄芸能文化の普及に尽力するとともに、沖縄と本土の懸け橋となって沖縄県の観光及び文化の振興に大きく貢献した。</p>
<p><b>社会福祉部門</b></p> <p>かみや こうしゅう 神谷 厚秀氏(80歳)</p> <p>教育隣組の結成や、那覇地区防犯協理事等として、永年にわたり青少年の健全育成活動等に尽力してきたほか、日本善行会沖縄県支部長として善行者を幅広く顕彰するなど、沖縄県の社会福祉の発展に大きく貢献した。</p>	<p><b>一般篤行部門</b></p> <p>あさと きみこ 安里 君子氏(83歳)</p> <p>永年にわたり助産師として母子の生命の安全確保に尽力し、地域における妊産じょく婦及び新生児の健康管理や、その家族への保健指導に取り組むとともに、人材育成に努めるなど沖縄県の母子保健の向上に大きく貢献した。</p>

お問い合わせ ● 県秘書課 TEL.098-866-2080 FAX.098-860-1453